

## アマモすくすくプロジェクト ～種子選別 小林小学校～

令和7年7月17日(木)に深江ブループロジェクト活動組織が、南島原市立小林小学校の5年生(児童16名)と一緒に、刺し網漁業の体験とアマモの種子を選別しました。6月の学習会でアマモの生態について学び、実際にアマモ場へ行きどんな魚が生息しているのか確かめるため、刺し網漁業を体験しました。

児童全員でロープを引っ張ると、網にカニや魚が引っかかっていました。素手で触ると危険なので活動組織のメンバーが網から取り、児童達に見せると興奮した様子で海の生き物を観察していました。

次に、事前にとったアマモの種を袋から取り出して選別作業を行いました。1袋に大量の種が入っていたため、割り箸を使って1つ1つ丁寧に取りました。

選別した種は一旦保管し、次回の種まきで海へ移植する予定です。



刺し網漁業を体験する児童達



吉田代表から説明を受ける児童達



魚が網にかかった様子



網にかかったカニや魚



袋に入ったアマモ



割り箸を使って種を選別中



アマモの種